

特集

大いなる  
田舎者

「故郷は遠くにありて思うもの」とはよく聴く言葉だ。かく言う私も、静岡の実家にはほとんど戻っていない。今や限界集落となった故郷の景観はせめて変わらないでと願うものの、何かが出来ているわけでもない。しかし、「この武雄を基点に活動することが、私の役割

であり使命なんです。」と語る、陶彩画家の草場一壽（くさばかずひさ）さんの生き方は全く違っていた。この自信と信念に満ちた「大いなる田舎者」とでも言うべきな寛容さと温かさがあり、これが武雄人か、と思わずにはいられないものだった。

文／池谷知啓 いけやともひろ  
つながる部 フェイスブック・シティ課

静岡県出身。2004年日本大学卒。航空関連会社に従事後、株式会社AIR DO(エア・ドゥ)にて空港旅客サービス、パイロット乗務管理等を経験。妻が佐賀県出身であり、武雄市の取り組みや豊かな環境に興味を抱き、2012年武雄市役所に入庁。営業部観光課を経て、2014年4月より現職。

